

令和7年1月27日部長会議 会議録（要旨）

- ◇日 時 令和7年1月27日（月） 午前8時35分から午前9時43分まで
- ◇場 所 市役所第一庁舎5階 庁議室
- ◇出席者 市長、西澤副市長、松山副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、保健所長、こども未来部長、環境部長、経済産業振興部長、観光文化部長、スポーツ部長、農林部長、建設部長、都市整備部長、会計局長、教育次長（行政及び教育）、上下水道局長、消防局長、議会事務局長、危機管理防災監及び関係課職員

◇会議内容

<市長あいさつ>

- ・1月22日に発生した殺傷事件については、昨日26日、県警等の尽力により容疑者が逮捕された。しかしながら、人命が失われたことから、気持ちがすっきりしていない。事件発生以降、消防局の救急対応、教育委員会の学校等への連絡、市有施設の安全確認など、総力を挙げて市民の暮らしの安全を守っていただいたことに敬意を表したい。引き続き、市民の心のケアについて、保健所を中心にしっかりと対応していただきたい。
- ・新年度当初予算については、先週（1/22）まで各部局の市長査定を行い、概ね予算案が固まった。予算編成作業に当たり、大変御苦勞をいただいたことに重ねて敬意を表したい。新年度当初予算案は、来月の政策説明会や記者会見で、議会や市民の皆様にご説明することとなる。ぜひ、積極的に情報発信していただきたい。事業については、未来を見据えた積極的な取組をしていくという思いがあふれるような名称や説明となるようお願いしたい。
- ・来週、2月4日に市議会臨時会を招集する。先日の臨時部長会議で決定したとおり、提出する議案は、国の交付金を活用した物価高騰対策に関する補正予算等である。国の交付金を活用した低所得世帯などへの給付金などであることから、予算成立後、直ちに着手できるよう準備を進めていただきたい。
- ・今月13日の夜、日向灘沖を震源とした地震が発生した。気象庁からは、分析の結果、南海トラフ地震臨時情報「調査終了」と発表されたところであるが、大規模地震発生の可能性がなくなったわけではない。いつ何時、身近な場所で、今回のような事件や自然災害が発生するかわからない。常日頃からの備えをお願いしたい。
- ・定例記者会見をはじめ、市のホームページ、SNSなどを通して、積極的に市政情報を発信いただいている。例えば、先日の環境部の当初予算の査定で、ごみの分別について実物を使って、これまでと今後の分別方法の違いをわかりやすく説明いただいた。市民がより理解しやすくなるような情報発信を考えてほしい。
- ・終わりに、市内でもインフルエンザが流行し、職員の中にも罹患し、休んでいる方もいると思う。各所属においても感染対策に努め、感染予防に努めていただきたい。

1 協議事項

（1）令和7年度組織・機構の見直しについて（総務部）

標記事項について、総務部長から説明した。（資料1参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

（2）上駒沢人権同和教育集会所の廃止・無償譲渡及び大室人権同和教育集会所の廃止について（地域・市民生活部）

標記事項について、地域・市民生活部長から説明した。（資料2参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

(3) 三輪小学校区の放課後子ども総合プラン施設の統合について（こども未来部）

標記事項について、こども未来部長から説明した。（資料3参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

(4) 小川村で捕獲されたニホンジカの長野市ジビエ加工センターでの受入れについて（農林部）

標記事項について、農林部長から説明した。（資料4参照）

○質疑

[総務部長] 長野市のデメリットとして、受入個体増に伴う業務量等の増加とあるが、この対応策は。

[農林部長] ジビエ加工センターで処理可能な個体数は、年間約1,000頭を見込んでいる。現在、イノシシの受入れを中止している中で、小川村から約50頭を受入れても、現在の人員体制で処理できる。

[総務部長] 今後、イノシシの受入れが再開した場合の対応は。

[農林部長] 実際に、いつ、何頭入ってくるのか読めない状況の中で、余裕を持って会計年度任用職員を雇用している。仮に、イノシシやニホンジカが相当数入ってきて、人員が足りなくなる状況であれば、会計年度任用職員の増員を検討する。

[企画政策部長] 委託料算出の施設運営経費に人件費は含まれているのか。

[農林部長] 正規職員の人件費は含めていないが、実際に、食肉を加工する会計年度任用職員の人件費は含まれている。

○今後の方向性

原案を了承

(5) 市営住宅犀南団地建替事業に伴うサウンディング型市場調査の実施について（建設部）

標記事項について、建設部長から説明した。（資料5参照）

○質疑

[財政部長] 工事着工も含めた全体のスケジュールを教えてください。

[建設部長] 令和7年度中に基本構想を策定し、令和8年度にPPP/PFI導入可否の方針を決定した上で、令和9年度以降に事業化に入っていければと思っている。

[財政部長] かなりの事業費が必要になる事業だと思うので、財源の確保を考えていただきたい。

[建設部長] 市営住宅の建て替えに関しては、交付金の対象になる場合もあるので、しっかり考えていきたい。

[上下水道事業管理者] 住民はどのように思っているのか。

[建設部長] 建て替えについて、篠ノ井地区住民自治協議会の皆様と犀南区の役員には説明を行っている。その際に聴取した意見を2ページの建替計画の方向性に地域の意向を記載している。この地域の意向を踏まえ、サウンディング調査を行い、建て替えをしていく犀南団地の今後の方向性を決めていければと思っている。

[企画政策部長] 建て替えによる家賃上昇を抑える策は考えているのか。

[建設部長] 建て替えると家賃が上がってしまうので、1戸当たりの面積の調整や急激に上がらないように抑える方法をこれから考えていきたい。

○今後の方向性

原案を了承

2 一括議論・一括承認事項

(1) 令和7年2月市議会臨時会提出議案について（総務部）

標記事項について、総務部長から説明した。（資料6参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

(2) 盛土規制法の規制区域（案）に対する市民意見等の募集（パブリックコメント）の結果及び規制区域の決定について（建設部）

標記事項について、建設部長の説明省略。（資料7参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

3 その他

(1) 入札・契約制度の見直しについて（財政部）

標記事項について、財政部長から説明した。（資料8参照）

○質疑

[危機管理防災監] 災害活動と防災活動の配点を変更しているが、それぞれ配点を下げると、災害に対する長野市の姿勢が問われるのではないかと。評価基準の項目を変えるなど、配慮できないのか。

[財政部長] 災害活動と防災活動は、事業者が希望すれば活動できるというものではないという実情がある。また、他の中核市においても活動実績を評価項目としている市は少ないため見直しを行った。引き続き災害活動と防災活動の配点はあるので、これで進めさせていただきたい。

(2) 長野市居住支援協議会の設立について（建設部）

標記事項について、建設部長から説明した。（資料9参照）

○質疑なし

<危機管理防災監から>

- ・JR長野駅善光寺口で発生した殺傷事件における本市の対応について、危機管理防災監から説明した。（資料10参照）

<唐木教育次長から>

- ・警察の巡視等は本日の午前中まで重点的に7校で行っていたが、3校を加え、警察が警備に当たっている状況である。また、スクールカウンセラー等による子どもたちの心のケアについては、数校から要請を受けている。今後も要請があった場合には応えたいと考えている。

<保健所長から>

- ・精神的不安に対する相談については、電話相談窓口を1月23日（木）に開設し、24日（金）までで16件相談を受けた。相談対応は継続しているが、PTSD（心的外傷後ストレス障害）は急性期だけではなく、1週間ぐらい経過してから発症する方もいる。電話による相談ができる方は良いが、相談できずに、ぼんやりしてしまう、あるいは突然泣き出してしまうといった反応があった場合は専門家につなげる必要がある。
- ・引き続き保健所として、精神的不安に対する相談は電話相談に限らず、市民に寄り添った対応をしていく。

<松山副市長から>

- ・この殺傷事件はかなり社会的にインパクトを与えたと思う。防犯という言葉が今後、様々な場面で出てくるのではないかと。
- ・まずは各部局の現在の防犯対策や対策への予算を整理して、財政課とも話をしながら、今後どういう対応をしていくのか準備をお願いしたい。各部局、財政ともに議論を始めていただければと思う。

以上